

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和7年12月号

様々な行事を通して成長した浅井北小の子どもたち

今年の夏は、いつも以上に暑く、9月になっても、10月に入っても猛暑が多くありました。11月になるとようやく暑さも和らぎ、やっと落ち着くかなと思っていたら、12月に入って急激に寒くなり、秋はどこへ行ったのやら、と……。こんな気象状況が落ち着かない2学期でしたが、子どもたちは様々な行事に、一生懸命に、そして楽しんで取り組み、すてきな笑顔で学校生活を送り、今学期も大きく成長しました。

2学期には、普通の学校生活や授業では学べない様々な行事があります。その中でも一番は「学習発表会～体育の部～」です。低学年・中学年・高学年と分かれて徒競走や表現運動に取り組みました。今年度の表現運動は、それぞれの学年で工夫あるものとなり、子どもたちは限られた時間の中で精いっぱい練習し、本番では見ている人の心をとてわくわくさせてくれました。またこの学習発表会は、全学年が一堂に会する数少ない機会なので、全校レクリエーションとして大玉転がしを実施しています。今回は学校生活の中で取り組んでいるペア学年活動を要素に入れました。いずれの発表も2学年一緒ということで、単学年だけでは得られない思いを育むことができとても良い機会になったと思います。



1～4年生は「秋の校外学習」に、5年生は「野外教育活動」に、6年生は「修学旅行」に出かけました。それぞれの学年がこれまでに学習した内容を復習するという意味で、または、これから学習する内容の予習を兼ねて、それぞれの場所に赴きました。教科書やネットなどから得られる情報だけでなく、目で見て、体験して、話を聞いて、というような活動をしてきました。五感に刺激を与えるということは、学習理解を深める上でとても大切なことです。



他には、1～4年生が「ウエルコートみづほ」を訪問しました。国際理解教育としての活動で一宮市観光交流課に在籍しているイタリア、ニュージーランド出身の、それぞれの交流員さんから出身国の生活などのことについて教えていただく機会もありました。

こうした様々な行事を通して成長してきた子どもたち。学校での生活を通して成長することとは、体だけでなく、心の部分、目に見えない部分も含まれていると思います。終業式では、その部分にスポットを当て、子どもたちに振り返ってもらいました。また、縄跳びができるようになった、難しい漢字が書けるようになったなど、「できた」という心の成長が見られるようになった、係や委員会の活動に忘れずに取り組んだ、朝ごはんを毎日食べたなど、「続けてやった」ということも心の成長だと思います。やれなかったけど「やろう」と思ったり、できなかったけど「あきらめない」で取り組んだり、ということも心の成長ではないでしょうか。子どもたちは、学校生活の中で様々な経験をし、いろいろなことを考えて身につけていき、多くの部分で成長しました。

こうした成長した姿を見せてくれた浅井北小学校の子どもたち。さらに大きく成長してほしいと願うばかりです。冬休みに入ります。年末年始を迎え、家族で過ごす時間が多くなります。家族で作業すること、家族で話をすることも成長の一助となります。よい時間を過ごしていただき、よいお年をお迎えください。2学期もありがとうございました。